

会 議 等 経 過 報 告 書

市 長	副 市 長	部 長	課 長	館 長	館長補佐	係 長	課 僚	主 任
令和4年7月5日								
報告者 職・職名 中央公民館 館長 飯 田 秀 ⑨								
1 会 議 名	令和4年度大船渡市立公民館運営審議会							
2 日 時	令和4年6月24日（金）午後2時00分～午後3時05分							
3 場 所	大船渡市民交流館・カメラホール 多目的ホール							
4 出 席 者	公民館運営審議会委員：13名（三浦昌弘氏、佐々木晋氏、薄衣裕昭氏、志田倫代氏、千葉久氏、細川佳紀氏、佐藤善公氏、舟野ひとみ氏、平田睦子氏、大和田勇氏、村上泰子氏、佐藤公枝氏、斉藤恵里氏） 事務局：5名（新沼協働まちづくり部長、山岸生涯学習課長、飯田中央公民館長、高橋館長補佐、佐藤主任）							
会 議 等 の 内 容								
<p>1 開会（進行：飯田館長） ただいまから令和4年度大船渡市立公民館運営審議会を始めさせていただきます。</p> <p>2 あいさつ（三浦会長） 本日は、ご多用のところご出席をいただき、誠にありがとうございます。 委員の皆様におかれましては、日頃から、市立公民館の運営に関しまして、多大なるお力添えを賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。 この後、改めて紹介があるかと思いますが、今回、新たに1名の委員をお迎えいたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。 さて、公民館活動につきましては、市民の多様な学習ニーズに応えるため、市民講座をはじめ、各種学級、講座を開催し、一層の学習機会の提供に努めております。また、学習環境の充実を図るため、カメラホール、三陸公民館及び地区公民館の安定した運営に必要な改修や修繕を行いながら、施設の適切な維持管理が行われているところであります。 本日は、令和3年度の公民館事業の実施状況の報告と、令和4年度の公民館事業計画についての協議をいたしますので、委員の皆様の忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。</p> <p>※ 新委員の紹介（飯田館長） ここで、私から、この度、新たに1名の委員を委嘱しましたので、ご紹介いたします。 資料の1ページをお開き願います。名簿の上から5番目、千葉 久委員でございます。</p> <p>※ 事務局職員紹介（山岸課長）</p>								

私から、本日出席しております事務局職員を紹介いたします。

協働まちづくり部長の新沼 徹でございます。中央公民館館長の飯田 秀でございます。同じく館長補佐の高橋 大介でございます。同じく主任の佐藤 拓美でございます。私は、生涯学習課長の山岸 健悦郎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

※ 会議の成立（飯田館長）

本日の委員の出席は 14 名中 13 名であり、大船渡市立公民館規則第 6 条第 2 項に定める委員の半数以上の出席を得ておりますことから、本審議会は成立しておりますことをご報告申し上げます。

※ 議長の選出（飯田館長）

ここからの進行は、大船渡市立公民館規則第 5 条第 2 項の規定により、三浦会長にお願いいたします。

3 報告

報告第 1 号 令和 3 年度大船渡市立公民館事業の実施状況について

議長

次第 3、報告第 1 号「令和 3 年度大船渡市立公民館事業の実施状況について」を議題とします。事務局から説明をお願いいたします。

説明（高橋館長補佐）

議長

課題にもありますが、このような新型コロナウイルスの状況の中で、本当に精力的にやれるところは一生懸命やっているんだということを感じております。それでは、令和 3 年度の事業の実施状況について、皆さんからのご質問、ご意見を受けたと思います。どなたかございませんか。

議長

課題のところに、学校関係等、忙しくて公民館事業もなかなか日程調整が難しいと私も感じていて、そのあたりのことについて、ないでしょうか。

高橋館長補佐

家庭教育学級のところで、これまで令和 3 年度当初、小中学校、こども園の児童生徒の保護者、教職員を対象に 14 ヶ所、15 ヶ所ほどで開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の関係もあったり、児童生徒の減少に伴い、参加者も減っているとか、日程調整等負担が大きいことから、なかなか実施が困難となっている現状があります。市内のこども園は、3 年に 1 回のローテーションで開催しておりましたが、今年度から、小中学校も 3 年に 1 回のローテーションで開催することとし、令和 3 年度までは 14 ヶ所、15 ヶ所で実施しておりましたが、大体半分かくらい 7 ヶ所、8 か所で開催するということで、進めることとしております。

議長

委員の皆様、質問等ございませんか。よろしいですか。それでは、事業計画等と併せ

て、もし何かありましたら、ご意見をいただければと思います。

4 協議

協議第1号 令和4年度大船渡市立公民館事業計画について

議長

次に協議第1号「令和4年度大船渡市立公民館事業計画について」を、議題とします。
事務局から説明をお願いいたします。

説明（高橋館長補佐）

議長

こうやってみますと、結構もりだくさんな内容であり、全部実施できればかなりいいなあといいながら聞いておりました。令和4年度の各事業について、ご質問、あるいは、ご意見等をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。それでは、せっかくの機会ですので、おひとり、おひとり、事業について、何かお感じになっていることがおありだと思いますので、ご発言いただきたいと思います。舟野委員さんから順番にお願いできませんか。

舟野委員

生きがいセミナーの実施計画について、どこの地域でも、去年もやったのに今年も同じような感じですが、この事業はそれぞれの地区で決めるのでしょうか。どういうふうに決定しているのでしょうか。

高橋補佐

生きがいセミナー開設要項につきましては、別冊資料の15ページのところにあります。8の運営のところになりますけれども、セミナーの運営をスムーズにするために運営委員会を設置しています。それで運営委員会の中で（3）ですけれども、運営委員会の役割は、概ね、次のとおりとしておりまして、①学習計画の策定、②受講生の募集、③その他、運営全般に関することとしておりまして、次の16ページの方では学習内容というところで、学習会は5回程度とし、うち一回は、地域包括ケア推進室主催の元気アップ教室と連携して実施すること、残りの4回の学習内容は各地区の運営委員会において、受講生の希望等を考慮して決定するという事で、各地区において進めておりまして、各地区の中で、同じ講座をやったりする場合がありますが、それでもアンケートでは、ほとんどの皆さんが、大変よかったというようなことで、実施しているようです。このように、内容については、運営委員会の中で決定しているところでございます。

大和田委員

いろんな講座をやっていますが、参加人数が、人気があると多いわけで、あまり人気がないと少ない、このデータを見るとわかりますが、やっぱり、いろんな機会というか、そういう講座を設けなくてはいけない関係上、この人数の制限があって、あるいは、なくてもいっぱい参加しているものもあると思いますが、例えば、人気がある講座において、枠を増やすとか、そういうところの問題点はあるのでしょうか。講師の問題とか、会場の問題とか、オンラインで開催する場合だと人数とか、いろいろあると思いますが、そういうところの問題点を聞かせてもらえればと思います。

高橋補佐

まずは、人数を増やすというところでの開催というのは、令和3年度において、多くの応募があったので、定員を増やしたりというような対応をしております。そういった場合にまずは、講師となる先生に確認をとって、増やすことができるかということがまず第一になってきます。あとは、開催の仕方ですが、講座については、本来であれば、オンラインよりも先生と対面でやるのが、まず一番だなというふうに思っております。ただし、どうしても新型コロナウイルス感染症対策の関係で、オンラインで開催するといった講座があった場合には、例えば、機器の接続とかということで、家庭教育学級の中では、機器が無いので講座ができなかったというようなこともありました。

村上委員

生きがいセミナーが5回実施されるなど、中央公民館主催の講座が充実していると思っておりましたが、周知等についても、効果的にみなさんに伝わっていると感じております。例えば、初級英会話講座に参加した77歳の方が、講座の開催を楽しみに待っており、また申し込みたいという話を聞かせてくれたことがありました。また、綾里地区の生きがいセミナーの運営委員会に、私も、グラウンドゴルフ関係者として入っていましたが、バランスのとれた内容になっていると思いました。

議長

やっぱりコロナ禍の中で、人の交流を求めている方々が多いようです。やれることを企画してやっていくということは、待っている方も多いですし、とてもいいことだと私も感じています。

佐藤（公）委員

今の話と反対になりますが、オンラインでの開催があって、それもいいなと思いました。働いていると、なかなか参加するのが難しいですが、そういう方法もあつたらなあと思いました。資料の写真を見ると、カメラアホールで講師さんを映してのオンラインかと思いますが、例えば、Zoomの講座の開催も試してみてもいいのかなと感じました。

斉藤委員

市民講座の参加者の年齢層というのは、どういったものなのか教えていただきたいで

す。

高橋補佐

明治大学連携講座の「好感度アップ話し方講座」は、高校生からの参加があり、60歳以上の方の参加もありました。年齢的に、一番多かったのは、40代、50代の方でしたが、それぞれ平均的な年齢層の方々に参加していただいたところです。もう一つの「人を大切にする働き方働かせ方」につきましては、こちらにも、1名ですが、高校2年生の参加がありました。あとは、30代から60代までは、各会社の管理職クラスの方ですとか、職員組合の組合員として勉強したいという40代、50代の方が多く参加しておりました。

佐藤（善）委員

コロナ禍でいろんな公民館活動が抑えられて、当地域でも活動が3年くらい制限されて、ちょっとストレスが溜まっているような感じが見受けられるという思いが強いです。

議長

先ほどオンラインのことも出ましたが、私などはアナログ人間で、やったこともないし、できませんが、今の若い世代は抵抗がどんどんなくなっているのかなと、そうすれば一つのコミュニケーションを作るツールとして取り入れていっても面白いし、今後の方向性としては、十分考えられるのかなと思います。

細川委員

家庭教育学級のことですが、学校現場にいるものとしては、昨年度の課題のところに、前年度と同様、担当者との連絡調整が課題となっているとありますが、どういうことが具体的課題なのか知りたいことと、学校に対して何かこうして欲しいという要望があるのであれば、お話しいただければと思います。

館長

家庭教育学級は、国庫補助事業を導入して実施する関係で、推奨するテーマを設けております。学校側には、4月に開催要項を送付しまして、その後、当館の担当者が学校を訪問し、学校側と内容や実施方法の調整をさせていただきますが、学校側では、年度当初の時点で、すでに推奨テーマ以外の内容で計画が決まっていたり、対象も保護者等としておりますが、学校行事と抱き合わせで、生徒を対象にしている場合があったり、こちらの意図するところと、若干ずれが生じてしまうところがあります。いずれ、そうしたもののでも、調整次第では、色んなやり方が考えられると思いますので、できる限り、学校側の意見を尊重しながら進めていきたいと思っています。

細川委員

ありがとうございます。3年に1回になって、東朋中学校区は、次の開催が、確か令和7年度だったので、暫く無くて残念ですが、これを活用して保護者に対して色々話ができるので、いいなと思っていました。

千葉委員

英語スクールの部分、大変人気があるというお話でした。それで抽選で決めて、落選した方もいるのでしょうか。抽選方法は、どんな感じでやったのかなということと、落選した方に対して、次回がある場合に、優先措置とかあればいいのかなと思いますが、どうでしょうか。

高橋補佐

令和3年度につきましては、2回開催いたしまして、1回目は応募が多かったので、抽選で公平に決定したところでございますが、落選した方も対象として、2回目の講座を開催しております。その際に、1回目に、都合が悪くて参加できなかった方にも、もう1回声かけをして、開催したところでございます。今年度につきましても、落選した方については、もう一度声かけを行うなど、講座に参加できるよう考慮しながら、進めていきたいと考えております。

議長

落選して、また次も落選になっていると、今度は申し込まなくなると思うので、是非それをやっていただきたいと思います。

薄衣委員

家庭教育学級との関わりで、他にも5者連携とか、そういう様々な組織がそれぞれ研修会を持っており、たくさんのお話を聞く機会があつて、いいことだとは思いますが、それぞれの組織が違うのでということなのですが、学校運営協議会も新しく始まって、昨年度のその会議の中でも、色んな組織の会議、研修会がそれぞれ行われたりして、訳が分からなくなってきたので、この学校運営協議会が始まった機会に、少し組織を整理、統合したほうがいいのではないかという意見が出てきております。そのような話を進める時間は、なかなかないとは思いますが、現状、そういう話題はないのでしょうか。

山岸課長

学校運営協議会、いわゆるコミュニティースクールが設置になりまして、公民館活動との連携ということで、学校運営協議会のほかに地域学校協働活動ということもやっておりまして、それをお互いに調整しながら進めましょうというふうな動きに今なっておりますので、まずは、各学校、それから市の方にコーディネーターがおりますけれども、そういった方々、これからは、そこを整理、統合ではなく、上手く連携しながら動くように、今後の学校運営協議会の中で、そして、地域学校協働活動を進めるにあたって整理しながら取り組んでいくこととしております。教育振興運動も、同じ枠組みの中で、合わせて取組を進めることとしています。

佐々木委員

市民講座について、色々意見がありました。コロナ禍の中で人数、距離、いろんな対策を取りながら、実施されてきていると思います。落選者を出さないように、みんなで協力して定員を増やしたりとか、そういうのは今まであまりなかったような気がしますが、例えば、補助員を増やすような形で20人、30人にできるようにするとか、そういった取組もあっていいのではないかと思っておりました。市民講座、大変人気があるということで、何年か出ささせていただいておりますが、定番化されているような感じで、今にあった新しい講座ですとか、毎回アンケートを取られている中で、事業を増やすのは大変なことかと思いますが、そのあたりどういった動きをされているのかお伺いできればと思います。

高橋補佐

市民講座の中で、市民IT講座についてですが、1回目は定員20人での開催でしたが、倍くらいの応募があったということで、落選者を対象に定員を30人とし、2回目を開催したところでございます。今後においても、応募する方の気持ち等を大切にしながら、中央公民館の事業を進めていきたいと思っております。

議長

徐々に規模の拡大も念頭に入れながら、お願いしたいと思っております。皆様のご意見、ご質問で協議が深まったことを感じました。全体を通して、皆さんから何かあればお願いいたします。

新沼部長

縷々お話を頂戴しました。大変ありがとうございました。

私の方から、まとめ的なことを述べさせていただきますが、単純な講座等の継続の話がございましたけれども、年度替わりで、予算編成等をするにあたっては、単純な流れの継続は戒めてございます。アンケート等も取らせていただいておりますので、そういったニーズ変化への的確な対応に留意させていただいておりますし、社会情勢の変化、あるいは、地域課題への対応、それと、先ほど言った、ニーズへの的確な対応と併せて、この3点に特に留意して、新しい取組を充実させるような対応をしてまいります。その中で、いわゆる学び直しの観点、リカレント教育と言いますけれども、そういった観点とか、社会情勢の変化で言えば、ワーク・ライフ・バランスへの対応とか、そういったテーマで、大学との連携講座を開催させていただいているところがございます。オンラインの関係でご意見を頂戴しました。コロナ禍の中であって、オンラインで対応させていただいたものがございます。我々も、対面の方がいいのかなと思っていましたが、思いのほか、評価が非常に高こうございました。オンラインでも十分満足がいただけたということでもあります。明治大学との連携講座もオンラインでやらせていただきましたが、例えば、明治大学から講師に来ていただくと、同じ内容、予算規模ですと、恐らく、対面だと1回か2回しか講座ができないということでもございましたが、

今回は、話し方講座等は5回シリーズと、非常に内容の濃いものができたということもございますので、対面も大切にしながらも、臨機応変に適切な形を選択してまいりたいと考えております。家庭教育がらみは、課長の方から申し上げましたが、コミュニティースクールとの関係を重視してまいりたいと思っております。そういったことを契機に、色々整理していただければと考えてございます。

議長

以上で次第4の協議まで終了いたしましたので、議長としての役割はここまでであります。以降の進行は、事務局をお願いします。

飯田館長

それでは次第5「その他」に移ります。はじめに事務局から提案事項等がありましたら、お願いします。

事務局（なし）

飯田館長

その他、委員の皆様から何かございませんでしょうか

平田委員

観光物産協会三陸町観光センターの平田でございます。三陸町観光センターでは、季節ごとに、七夕やみずき団子などを企画して、地域の皆様や三鉄の利用者の皆様に楽しんでいただいておりますが、今は、七夕を作成中で、昨年新設された学童保育にも声をかけております。今年度で三陸駅も綾里駅も無人化になりますが、最後の企画となりますので、地域の皆様に協力をいただいて、頑張っているところです。ぜひ三鉄を利用して、7月5日から一か月間飾りますので、ご覧いただければと思います。併せて、三鉄の利用の方もよろしく願いいたします。

館長

その他、委員の皆さんから何かございませんでしょうか。ないようでございます。以上を持ちまして、令和4年度大船渡市立公民館運営審議会を閉会いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。